

山口県労福協機関紙 連合山口・労働金庫・こくみん共済coop山口推進本部・県生協連・13地区労福協

やまぐち労福協

vol. 204
2025.8月号

一般社団法人 山口県労働者福祉協議会

〒753-0078 山口市緑町3番29号 TEL (083) 925-7332 FAX (083) 921-1650
Eメール roufuku@orange.ocn.ne.jp

山口県労福協 「第14回通常総会」開催

2025年5月26日(月)に山口市「労福協会館」にて、来賓・会員団体・代議員・オブザーバー総勢53名が参加しました。



開会に際し、中繁会長は「誰一人、取り残さない持続可能な「安心・共生の福祉社会」を実現させるため、各地区労福協や労働団体、労金・こくみん共済coop・生協連のみなさまとともに、**一中繁尊範 前会長**一働く者の暮らしを守る労働者自主福祉運動の推進や共助・公助の機能強化、地域における社会貢献活動など、より一層力を入れていかなければならない」と挨拶しました。次に、来賓の平屋隆之山口県副知事と、伊藤和貴山口市長より祝辞をいただきました。

議長には、萩・阿武地区労福協より岡ひと

【2025年度の事業計画】

1. 暮らしの総合支援と労働者福祉向上への取り組み

- (1) 生活あんしんネット事業
- (2) しゅうなん若者サポートステーション事業
- (3) パーソナル・サポートセンターやまぐち事業
- (4) 中央労福協・西部労福協との連携強化

2. 労働者福祉事業団体との連携強化・利用促進の取り組み

- (1) 福祉事業団体合同推進全体会議の開催
- (2) 福祉メーデー山口県集会の開催
- (3) 山口県勤労者文化展の開催
- (4) 会員交流スポーツ大会の開催
- (5) 地区労福協・労働団体との連携
- (6) 中国労働金庫の推進
- (7) こくみん共済coopの推進
- (8) 山口県生活協同組合連合会の推進
- (9) 連合山口寄附講座への参画
- (10) 西部労福協主催の諸行事への参画

3. 社会貢献活動の取り組み

- (1) 障がい者運転免許取得特別支援講座の開催
- (2) 高校生のための消費者講座の開催
- (3) 地域福祉活動への参画

4. 政策制度改善の取り組み

- (1) 勤労者福祉の充実・強化に向けた政策・制度実現の要請
- (2) 政策研究委員会による調査・研究と提言活動

5. 労働保険事務組合事業について



みさんを選出し、議事に入りました。

議案審議では、2024年度事業報告や決算報告、2025年度事業計画や予算案など、すべて満場一致で承認されました。「役員補欠選任」では、議案承認後に、第1回理事会を開催し、会長・副会長・専務理事の選定を行い、網戸選挙管理委員長より新執行体制を報告しました。

新たに会長に就任した伊藤会長は、「私たちを取り巻く環境は課題が山積している。地区労福協や加盟団体のみなさまと力を合わせて労働者福祉運動に取り組んでいきたい」と挨拶しました。

—伊藤正則 新会長—



【2025年度役員体制】

役職名	選出区分	氏名
会長	連合山口	伊藤 正則
副会長	中国労働金庫	網戸 茂
"	こくみん共済coop	榎本 康仁
"	生協連	岡崎 悟
専務理事	中国労働金庫	益田 宗俊
理事	連合山口	森本 正宏
"	"	中元 直樹
"	"	山根 浩二
"	こくみん共済coop	篠原 正樹
"	中国労働金庫	松田 松則
"	生協連	荒瀬 泰
"	地区労福協	問田 慎太郎
"	"	石田 賢次
"	"	西本 和史
監事	中国労働金庫	磯中 範子
"	こくみん共済coop	原田 孝志
"	連合山口	倉重 里加

《退任役員》 在任中のご厚誼に感謝申し上げます。

前会長 中繁 尊範
前専務理事 藤山 毅

福祉事業団体合同推進全体会議 開催



—伊藤会長—

7月17日(木) 山口市「労福協会館」で福祉事業団体合同推進全体会議を開催し、55名が参加しました。この取り組みは、若年層の地区労福協役員や労働組合役員を対象に、労働者自主福祉運動の推進を図り、組合員の可処分所得の向上と福祉事業団体の利用拡大につなげていくため、2022年度より毎年開催しています。



はじめに伊藤正則会長は「労金・こくみん共済coopは、労働者・労働組合が作り育ててきた助け合いの福祉事業団体として、組合員へのお役立ちを第一に、家計の見直し運動や保障設計運動など様々な事業を展開しており、今なくてはならない福祉事業団体として大きな役割を果たしていただいている。しかし、福祉事業団体を取り巻く環境は、少子高齢化や人口減少による組合員の減少、30年以上に及ぶデフレ経済による物価の高騰など、生活困窮や生活意識の変容など目まぐるしく変化する社会の中で、様々な課題に直面している。これから先、事業と運動をどう将来へつないでいくのが今喫緊の課題。組合員の暮らしをしっかりと守り続けていくためにも、労金運動と共済活動の推進をこれまで以上に強固にしていかなければならない。その役割発揮が、私たち労福協に、より強く求められている。この合同推進全体会議において、改めて労働者自主福祉運動の原点を理解して、それぞれの職場や地域で情報発信等より一層の推進に

努めていただきたい。」とあいさつしました。

今年度は、「資産形成」をテーマに労働金庫・こくみん共済coopより講演がありました。

中国労働金庫

「はじめての“投資信託”～人生100年時代を豊かに過ごすための資産形成～」

中国労働金庫山口支店
代理 藤原典郎 氏



こくみん共済coop

- ①「今こそ始める年金共済を活用した資産形成術」
こくみん共済coop山口推進本部
事業推進課 係長 須山武蔵 氏
- ②「個人賠償責任保障の必要性」
こくみん共済coop山口推進本部
山口損調サービスセンター 所長 藤津智彦 氏

中国労金山口支店の藤原典郎代理から、投資信託の仕組みやリスク等についての詳しい解説と、金融犯罪事例を紹介して防止を呼びかけました。こくみん共済coop山口推進本部推進事業課の須山武蔵係長からは、新団体年金共済でNISAのリスクを吸収できる仕組みについてYoutube動画を使って詳しく解説、続いて、山口損調サービスセンターの藤津智彦所長より、日常生活で偶然に起きた事故等の賠償に備えた「個人賠償責任共済」の説明がありました。閉会あいさつに立った網戸茂副会長は「労働者自主福祉事業団体(ろうきん・こくみん共済・生協連)と労働団体(連合)との関係を強固にし、地域や職場で「助け合い」の機能をさらに発揮



—網戸副会長—

する必要がある。労福協に集う仲間が、熱意と行動力をもって「連携共同でつくる安心・共生の福祉社会の実現」をめざして、各地区のみなさまとともに運動を前進させる活動を今後更に展開してまいりたい。ともにがんばりましょう！」と締めくくりました。

全国研究集会 2025 in TOYAMA 参加報告

～ テーマ「地域が主役！あたたかな子どもたちの居場所を」～

6月6日（金）に富山県富山市で開催され、県労福協から益田専務、原田孝志監事（こくみん共済coop）が参加しました。昨年度に引き続き「未来の日本社会を担う子どもたち」をテーマに、安心して過ごせる居場所を地域にいかにか築いていくか、夢を抱きながら成長することができる地域社会のあるべき姿はどのようなものかをテーマにトークセッションが行われました。

多様な活動をしているゲストが、具体事例を挙げて地域が主役の子ども支援を紹介し、参加者は、信頼関係の構築や活動の継続性、



子どもが主体となる関わり方など、重視すべき視点を共有しました。視覚的に整理されたグラフィック記録により、来場者・視聴者への理解促進に非常に効果があったと感じました。

2025年度地区労福協事務局長会議 報告



－会議の様子－

6月12日（木）に山口市「労福協会館」で、地区労福協・労働団体・福祉事業団体から18名が参加し開催しました。はじめに、伊藤会長は「現在、物価上昇や社会保障費負担増加などの課題がある中で、労福協は福祉事業団体との連携を強化し、働く人や生活者の暮らしを支えるため、労働者自主福祉運動の取り組みを進めている。本日は、労働組合・福祉事業団体を取り巻く現状と課題について理解を深め、「ともに運動する主体」であることを追求していくことをお願いしたい。」と挨拶

しました。続いて、中国労働金庫・こくみん共済coop中四国統括本部より要請のあった「家計の見直し運動」通年取り組みとして、可処分所得向上や若年層に向けた金融リテラシー向上・多重債務未然防止に向けた啓発活動について各地区労福協へ課題認識と取り組みへの協力を求めました。

● 今後の主な日程 ●

- 10月4日（土）
県労福協チャリティーゴルフ大会
- 11月5日（水）～11月13日（木）
第35回勤労者文化展
- 11月6日（木）
第47回福祉メーデー山口県集会
西部労福協「第43回研究集会」（山口市）
- 12月4日（木）
地区労福協会長・事務局長会議

山口県労福協主催チャリティーゴルフ大会を開催します

開催日 2025年10月4日（土）アウト・インともに9:04スタート

場 所 宇部72カントリークラブ 阿知須コース

申込等 参加申込は各地区労福協事務局へご連絡ください。



第35回 山口県勤労者文化展の作品募集

山口県勤労者文化展は、勤労者が余暇を利用して制作した美術文芸作品の展覧会を開催し、充実した芸術文化活動を応援します。

応募期間	2025年 9月1日（月）～ 9月26日（金）
応募方法	山口県内の中国労金各支店・代理店または、山口県労働者福祉協議会（労福協会館）へ、作品をお持ちください。
部門	写真の部、絵画の部
出品者資格	山口県内の事業所に勤めている勤労者、退職者。
出品規定	(1) 作品は、自己の制作した未発表のもので、1人2点以内。 (2) 作品裏面に出品表Bを貼付してください。 (3) 作品は必ず梱包紙や緩衝材で梱包すること。 (梱包せずに紙袋等に入れている場合は受付できません)
作品規定	(1) 写 真 … A4～A3ノビ、四切～半切の額装またはパネル張りのもの。 (吊り金具と紐をつけてください。ガラスの額装は使用不可) (2) 絵 画 … 6号以上10号までの額装のもの。 (吊り金具と紐をつけてください。ガラスの額装は使用不可) (3) その他 … 会場の都合で作品を全部展示できないことがあります。
作品の返却	2025年11月28日(金)以降に提出場所および県内の中国労金各支店・代理店から返却します。(土日祝日は除く)
展示期間	2025年 11月5日(水)～ 11月13日(木) (入館時間 9:00～16:00)
展示会場	山口県労福協会館 4階大会議室 (山口市緑町3-29)
審査	文化展観覧者及び福祉メーデー山口県集会 (2025年11月6日(木)開催) の参加者による投票。
表彰	入賞者には賞品を贈呈します。

そ の 他



本文化展の出品作品は、当会広報誌およびホームページに作品の写真・作者名・題名・所属（労働組合名）を掲載することがあります。
出品作品の保管中やむを得ない事故等による汚損・亡失については責任を持ちかねます。



主催：一般社団法人 山口県労働者福祉協議会
〒753-0078 山口県山口市緑町3番29号
TEL 083-925-7332 FAX 083-921-1650

山口県労福協

<https://www.welfareyg.jp/>



共催：中国労働金庫西部エリア営業本部、こくみん共済coop山口推進本部、
連合山口、山口県生協連、13地区労福協
後援：山口県、山口県市長会

労福協マスコットキャラクター
「きょうちゃん」

